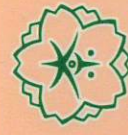


No.64

■発行/奈良市議会  
■編集/奈良市議会だより  
編集委員会

# 奈良市議会だより



〒630-8580 奈良市二条大路南1-1  
奈良市議会議務局  
☎(0742)34-4734



リズムに乗ってイキイキ (右京小学校運動会)

## 9月定例会

# 世界遺産に学び、ともに歩むまち—なら 奈良市基本構想、提案される

**招集あいさつ**

大川市長は、三選後初めての今定例会招集あいさつで、次のように三期目の決意を述べました。(要旨)

**やさしさと  
ふれあいのある  
まちづくり**

平成四年九月に市長に就任して以来、二期八年間一貫して、「やさ

しさとふれあいのあるまちづくり」を行政理念として、市政推進に努めてきた。二十一世紀のまちづくりの基本姿勢として、「いのちをはぐくむまちづくり」、「こころの通い合うまちづくり」、「歩くのが楽しくなるきれいなまちづくり」、「古いものと新しいものが調和するまちづくり」、「まちづくりは人づくり 青少年の健全育成」の五つの目標を掲げ、個性豊かな魅力あるまちづくりに全力を投じたい。

## 平成11年度決算を認定 硬直化の財政、健全化へ努力を

平成十二年九月定例会は、九月十三日から二十九日までの十七日間の会期で開きました。この定例会の招集あいさつで市長は、三期目の決意を述べました。この議会では、市長から平成十一年度奈良市歳入歳出決算の認定についてなど報告五件、十二年度一般会計や三特別会計の補正予算、奈良市基本構想など議案十六件の合計二十一件が提出されました。このうち、奈良市基本構想については閉会中の継続審査とし、その他はすべて原案どおり可決しました。

平成十一年度奈良市歳入歳出決算及び奈良市公営企業会計決算三件の計四件の決算認定については、十四人の委員で構成する決算特別委員会に審査を付託しました(審査概要は四面に掲載)。一般会計、特別会計の財政状態は、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率で一・六ポイント、公債費の負担状況を表す公債費比率で〇・四ポイント前年度と比較して改善されていますが、依然として硬直化の傾向にあります。公営企業会計三会計のうち水道事業会計は、料金改定により給水収益が増加する一方、比奈知ダム建設事業割賦負担金の償還が始まったことにより、費用も増加していますが、純利益は、前年より増えています。





環境にやさしいライト・レール・トランジット(イメージ図)  
路面電車いわゆるライト・レール・トランジットの導入を

## 旧市街などに導入の 路面電車構想は

### 環境

### 質

### 問

### と

### 答

### 弁

### 本会議

## 環境の世紀に向けた

## 21世紀のまちづくり

九月十八日、十九日、二十日の本会議では、十三人の議員(うち代表質問六人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、環境の世紀ともいわれる二十一世紀のまちづくりや、東部の活性化策、都市整備、環境などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

な構想なのか。

答 騒音、交通渋滞、大気汚染など交通に起因する環境負荷から世界遺産などを守るには、クリーンなエネルギーの路面電車が効果的であり、国内の一部の都市やヨーロッパで実証済みである。JR線の高架化に伴う大宮跨(一)線橋、大森跨(二)線橋の落橋時期に合わせ具体化したいと思っている。ルートは、大宮通りや市内循環線での導入ができればと考えている。

## 地球温暖化防止に 電気自動車の導入増を

問 地球温暖化防止の究極はエネルギー問題である。公

問 循環型社会の早期実現を図るため、家庭から排出される生ごみの処理機の購入助

### 10月から購入助成 電動式生ごみ処理機

問 生ごみ処理機は、家庭から排出される生ごみの処理機の購入助

用車に電気自動車を増車する考えは。  
答 省エネ対策として本庁舎のエレベーターの一部停止や休憩時間内の消灯などの実施、ならマイカーひとやすみデーの推進、アイドリングストップ条例の制定等に取り組み、歴史的文化遺産を守るため地球環境保全に取り組んできた。公用車の電気自動車等低公害車への転換については、今後検討する。

問 現在、建設省でボーリング調査及び水位観測等が行われ、その調査結果を基にルート案が検討されると聞いている。今後は、期成同盟会の会長を務めさせていただきこ

備に取り組む決意は。

問 京奈和自動車道の奈良市域を通る大和北道路は、いまだルートが決まっていない。八月に開催された京奈和自動車道整備促進期成同盟会総会で、市長が会長に就任されたが、この好機をとらえ、大和北道路のルート決定と早期整備

### 都市整備 国に精力的に働きかけ 京奈和道ルート決定で

### 都市整備

## ごみ問題を市民的課題に 校区単位に懇談会設置を

問 ごみ焼却施設の悪臭、ばい煙被害などのごみ問題を、市民全体の問題と位置付け、小学校区ごとに懇談会を開くなど、情報公開を行い、専門家や市民が参加して市民合意を形成するための検討委員会を設置する考えは。

答 小学校区単位に懇談会を設置してはとのことだが、出来れば実施したいと思う。ごみ問題は、市民の方々に、市民全体で取り組んでいかなければならないという認識を持っていただくことが大切である。清掃工場の移転もみん

成制度は。

答 家庭の生ごみ処理機については、平成三年度からコンポスト容器等の購入助成を実施し推進してきた。

最近、電動等により生ごみを分解、乾燥させ短時間で

たい肥化または減容化する処理機が各メーカーから発売されている。従来型に比べ処理時間が非常に短く、減量及びたい肥化効果が大きい。十月から、新たに助成対象とする。

とを一つの糧に、早期のルート決定及び県下全体の早期着

手・完成に向けて、国の機関等に精力的に働きかけたい。



奈良市域北道路の間近まで完成している

## 特別委員会を設置し 奈良市基本構想を付託

奈良市の将来像を「世界遺産に学び、ともに歩むまちなら」とする二〇一〇年までの奈良市基本構想は、十七人の委員で構成する基本構想特別委員会を設置し審査を付託しました。

この基本構想は、市の将来像と、これを実現するための市政運営の基本方針を示すものであることから、慎重に審査を行うため、閉会中の継続

審査としました。

### 基本構想特別委員

- 委員長 峠 宏明
- 副委員長 大井 国崇
- 藤本 孝幸 矢野 兵治
- 山口 裕司 榎木 義秀
- 池田 慎久 上原 尚
- 蔵之上 政春 金野 秀一
- 西本 守直 船越 義治
- 松石 聖一 小林 照代
- 中西 義次 中村 重信
- 和田 晴夫

### 市民参加

### 市民憩いの森 運営にボランティアを

問 中ノ川町に予定している仮称市民憩いの森について、市民の要望を組み入れた計画にすべきだ。また、運営にボランティアを活用してはどうか。

答 用地は約半分が保安林となっており、世界遺産のバッファゾーンに接している。このような環境を十分に考慮し、保安林については自然のまま残したいと考えている。事業手法については広く意見を求め、参考にしたい。奈良を訪れる修学旅行生が減少傾向にあるところから、ここで記念植樹の森というのも考えていきたい。運営には、各

分野からのボランティアがかわっていただくことも配慮しながら進めたい。

### ボランティアで 公園づくり

問 公園ボランティア制度の進捗状況と今後の見通しは。

答 七月一日号のしみんだよりで公園ボランティアの募集をしたところ、五十二件の登録をしていただいた。希望する活動内容は、除草作業、木のせん定作業、清掃作業、遊具等の手入れ、花づくり、その他にアドバイザー活動や消毒、腐葉土づくりなど多岐にわたっている。今後は、これらのボランティアの方々の希望を生かせるようにしたい。そして、利用の少ない公園をこうしたボランティア活動で、きれいにすることにより一人でも多く利用していただきたい。



# 透明性の高い行政に

## 政治倫理の確立を

### 政治倫理

**問** 政治倫理制度を確立し、透明性の高い行政システムの確立を図ることが求められているが、

**答** 市政は、市民の厳粛な信託のもとに、公正かつ公平に推進しなければならない。

### 幼・保一元化を研究 働く親のニーズに

**問** 少子化で幼稚園の廃園があつたりする中で、働く親たちは、幼稚園でも夕方まで子供を預かつて欲しい、保育園でも入学前教育をして欲しい

そのため、市長は、四年ごとに選挙により市民に信を問われることになっている。奈良市では、既に政治倫理確立のための市長の資産公開について条例化しているが、市民全体の奉仕者として自らの高潔性を示すことが必要だと考えており、市長の政治倫理確立のための条例制定について慎重に検討していく。

### 福祉

**問** 東部地域活性化のため、地域住民などで組織する東部地域活性化対策懇話会が、東部の全世帯にアンケート調査を実施した。その中で、東部に優良田園住宅建設促進法を活用して自然と調和の取れた住宅地の開発で地域の人口増加を図ることや、若い女性や主婦の働きやすい環境整備など望まれているが、どう対処

するのか。

**答** 東部の定住人口増加のためには、優良田園住宅建設促進法の活用が有効な方法の一つである。庁内組織をつくり、基本方針策定に向け、検討している。

女性の働きやすい環境整備は、乳幼児数の減少等、課題が多い中、地域の実態を踏まえ、支援策を検討したい。

# 優良田園住宅建設促進法を活用 東部の定住人口増加策

### 東部活性化

**問** 児童虐待防止法が、このほど成立した。同法では、県の児童相談所の取り組みが主になってくるが、県の児童相談所は奈良市には一カ所である。具体的に市民の窓口となる市の相談窓口を明確にし、ネットワーク機能を充実していくための施策は。

**答** 同法は、現代社会において問題になっている保護者による児童虐待の早期発見と児童の速やかな保護を目的として、今年五月に成立した。子供への虐待は、一つの機関だけで解決することは困難で、地域の様々な機関と専門機関が互いに役割を理解し、チームを組んで援助することが必

いとのニーズがある。幼・保を一元化した幼稚園といったものをつくる考えはないか。

**答** かねてから、幼稚園と保育園の一体化を考えている。幼・保一元化の取り組みをするよう福祉部で研究をし、教育委員会にもその旨を伝え、研究してもらっている。そうしたあり方によってこれからこのニーズにこたえていけると思っている。

# 児童虐待防止に 相談窓口のネットワーク

### 学校施設の改修計画



大規模改修が行われている佐保小学校校舎

**問** 学校施設の改修計画は、そのための財源確保について

地方債の活用については、大規模改修は財政状況から補助対象でなければできなく、

### 教育

### 主要駅周辺に 夜間の保育所を

**問** 少子化対策の一つに、夜間保育の充実がある。主要駅周辺に夜間保育のできる保育所を作る考えは。

**答** 現在、夜間に及ぶ延長保育をしている保育所は一カ所あり、平成十三年度、二名町に開設予定の民間保育園でも夜間に及ぶ延長保育を実施する予定である。近鉄及びJRの主要駅付近には夜間保育所はないが、十二年・十三年で近鉄新大宮駅付近に二十四時間を視野に入れた定員百二十人の民間保育園一園の建設が予定されている。

の地方債活用などの基本的な考えは。

**答** 教育委員会で建設年度に基づき大規模改修の素案を作成しており、それを参考に、予算措置を行っていき

たい。

施設整備については、他の自治体の設置状況を調査し、検討していきたい。

### 引きこもりの 未然防止

**問** 不登校などをきっかけに、自宅に引きこもり、社会参加しない状態が長く続く「引きこもり」が深刻な社会問題となっている。この問題にどう取り組むか。

**答** 不登校の小・中学生のうち、不安が強く引きこもりの状態になっている者は、学校に行けない自分に対して強い罪悪感を抱く場合が多く、慎重な対応が望まれる。小・中学生の不登校の実態を分析し、引きこもりを未然に防ぐため、保護者とも連携を密にし、わかば教室等の専門機関やスクールカウンセラーの指導のもと、早期の対応ができるよう努めたい。

### スケートボード場 整備を調査・検討

**問** スケートボードの愛好者が急速に増えている。青少年が安心して遊べるスケートボード場が必要ではないか。

**答** 市内で、スケートボードをしている青少年を見かけるが、彼らの実態は把握をしていない。正しいルールに基づいたスポーツとして普及させていくことが大切と考える。施設整備については、他の自治体の設置状況を調査し、検討していきたい。

補助対象になるものについては起債を行い、今後計画的に進めていきたい。

### 議会の情報を公開

奈良市議会では、情報公開を実施しています。

開示申請に当たつての詳細しいことは、議会事務局(☎三四四七三三四)までお問い合わせください。

# その他の主な質問事項

- 市長の政治姿勢
- 今後の行財政運営
- 市長選挙の投票率
- 行政評価制度の導入等
- 第三次総合計画等
- 人材発掘、職員意識改革
- 国勢調査と人権
- 男女共同参画基本条例の制定等
- 戸籍事務の電算化
- シルクロード沿線交流
- 税財源の委譲
- 平成十一年度決算
- 明治地区のローカルバス構想
- ISO14001(環境管理の国際規格)認証取得
- 十万人ボランティア運動
- 土地開発公社経営健全化
- 介護保険料減免要綱制定
- ごみ減量目標とリサイクル条例制定
- 環境清美工場移転と職員・周辺住民の健康診断
- 奈良阪緊急処分場使用見込と水質等の検査結果
- 事業系ごみ分別の推進
- 家電リサイクル法
- 南老春の家計画
- 音楽療法充実と国家資格
- バリアフリーマップ作成
- 少子化対策・臨時特例交付金の活用
- 帯解保育園の食中毒事件
- 教員の資質の向上
- 教育の現状認識
- 地域教育連絡協議会設置
- 地域の教育力
- 社会教育施設等のIT化
- 公民館運営の財団化と職員採用
- 教科書採択の公正確保
- 学校図書館司書教諭
- 第七次教員定数改善計画
- 心を育てる教育
- メンタルフレンド制度
- 児童育成計画の進捗よく状況
- 学校給食施設の改修
- 学校における紫外線対策
- 学習障害、注意欠陥多動性障害児の取り組み
- 西部の女性問題相談室
- 女性団体ネットワーク化
- 観光振興策
- 伝統工芸の発展振興と技能者の育成
- 三条本町のホテルと市ラフホテル条例
- 回和行政と今後の方向
- 治水・災害対策
- 南財塚町の浸水対策
- 大亀谷国有地の活用
- 川上市営住宅跡地の活用
- JR奈良駅・京終駅・帯解駅周辺整備
- マーチャントシートセンターの活用
- 巨樹・巨木の保護と活用



### 奥柳登美ヶ丘線

問 都市計画街路奥柳登美ヶ丘線は。

答 数年にわたり再開発事業について権利者等と協議を行ってきたが、了解が得にくい状況にある。今後は、駅前広場や狭い道路の拡幅等について、地権者の了解が得られれば、引き続き検討していきたい。

### 富雄駅北地区の整備

問 富雄駅北地区の整備は。

答 数年にわたり再開発事業について権利者等と協議を行ってきたが、了解が得にくい状況にある。今後は、駅前広場や狭い道路の拡幅等について、地権者の了解が得られれば、引き続き検討していきたい。

### 起債残高減少策

問 起債の借り入れの上限と残高減少計画は。

答 適債事業として認められる事業へ起債を行っているが、後年度の財政負担を考えねばならない。残高をいかに減らすか、最小限度に抑えていくかを考え、できるだけ年限が長いもの、低利なもの、利子等も交付税算入の対象となるものなど有利な起債を活用していく。

## 決算特別委員会審査概要

委員会は、九月二十日、二十二日、二十五日、二十六日、二十七日の五日間開きました。例年、九月定例会には、水道事業会計など公営企業会計決算が報告され、一般会計、特別会計決算は十二月定例会に報告されていましたが、議会の意見を次年度の予算に十分反映させるため、今年度から、すべての平成十一年度決算が九月定例会に報告されました。付託を受けて審査した平成十一年度の一般会計決算、十特別会計決算、三公営企業会計決算は、いずれも認定すべきものと決定しました。以下は、委員会審査での質疑の要旨です。

### ダイオキシン削減

問 焼却炉ダイオキシン削減対策工事が遅れた原因は。

答 十一年度に一号炉の改造工事を予定であったが、性能発注のための設計や地元調整に時間を要したこと等から、十二年度に工事を繰り越した。現在、一号炉の改造工事は完成し、稼働している。十二年度は、四号炉、十三年度には二・三号炉の改造工事を実施していきたい。

### ごみ収集ステーション化

問 ステーションでのごみ収集後の後始末や、今後のステーション化促進は。

答 ごみ収集後の後始末で、市民への清掃負担とならないよう一層努力していきたい。また、ひとり暮らしの高齢者や体の不自由な方の家庭は別として、各戸収集からステーション収集に協力いただくよう各自治会へお願いしている。

### 朱雀大路復元計画

問 積水化学工業の中ノ川

答 学園南三丁目から西警察署付近までの約三百三十メートルについて、地元から計画変更の要望があり、本線部分の一部を掘削りか、ボックス構造とし、側道と本線の取り合いをスムーズにするため、事業区間を北へ約二百メートル延長する案を検討中である。地元自治会と十分協議を行うとともに、国、県とも協議の上、事業を進めていきたい。



史跡指定全域の復元を指す朱雀大路跡

### 街路事業の進ちよく

問 街路事業がなぜ進ちよくしないのか、優先順位を決めて進めてはどうか。

答 事業費そのものが減ってきていることや、地権者が代替地を希望し、そのあつせん等に時間を費やし、用地交渉が長引いている実態がある。今後、市内交通における重要な道路や、生活関連に直結する

移転中止により、朱雀大路復元、二条大路拡張整備等の計画は。  
答 朱雀大路跡は、昭和五十九年に国の史跡指定を受けて復元整備を行っており、七割が整備済みとなっている。現在積水工場敷地となっている残りの部分の整備は、市が指定全域の復元を目指し、二条大路の復元事業を行う国、県ととも協議して、朱雀大路跡復元に努めていく。

### 中・高のクラブ活動

問 中学校、高校のクラブ活動が衰退傾向にあるが。

答 生徒数の減少、教員の高齢化などにより、陸部、募集停止をせざるを得ない状況、また勝利至上主義や、中学校で燃え尽き、高校で部活動をしなくなる状況が見られる。外部人材の活用、複数校での合同の部活動、部活動休養日の設定など、各学校現場の協力や、中学校体育連盟等の協力も得ながら展開していきたい。

### 間伐材の利用拡大

問 間伐材の利用拡大の取り組みは。

答 森林組合が、市民に木のぬくもりのよさを知っていただく趣旨で、JR奈良駅、近鉄奈良駅に間伐材を利用したベンチを設置している。市も、学校・園でベンチをつくるなど、間伐材の利用を図るとともに、市民に木材に触れる機会をつくってきたい。

### 決算特別委員

- 委員長 米澤 保
- 副委員長 船越 義治
- 松村 和夫 中木 良夫
- 高橋 克己 松田 末作
- 西本 守直 原田 栄子
- 吉田 文彦 松石 聖一
- 日和佐 権甫 大谷 督
- 中村 重信 和田 晴夫

### 県水受水

問 大滝ダム完成後の県水受水は。

答 大滝ダムは平成十五年に完成予定である。水源能力は現在、足りているので、二万五千トンの県水受水は、人口等到達時点まで猶予願うよう調整を行っていく。渇水期対策として水源を淀川水系ばかりに頼るのではなく、吉野川水系に確保することも考え方としてあるが、経営状況を無視してまで行うことはできないので、県と協議を行ってきたい。

### 完成土地の売却

問 宅地造成事業の完成土地は、原価にとられず、実勢価格での売却を検討しては。

答 金利負担を考慮すると、原価を割つても売却処分していくことも視野に入れ、社会情勢を勘案しながら検討していきたい。

### 下水道の水洗化率

問 下水道の水洗化率は。

答 十一年度末現在で八六・四%となっている。向上策として、くみ取り便所は三年以内に水洗便所に、浄化槽は速やかに改造し、下水道に接続するよう市民によりで広報するとともに、下水道工事開始前の地元説明会や、供用開始時にパンフレットを配布している。水洗化には、融資あつせんや利子補給及び設備費助成金の制度を設けている。

## 主な議決結果

九月定例会で議決したその他主な議案は、次のとおりです。

件名	結果
◇平成十二年度一般会計ほか三特別会計補正予算 補正総額十億三百八十八万一千円の増	可決
◇市総合老人ホーム条例の一部改正 低所得で特に生計が困難であると認める者の特別養護老人ホーム及び老人デイサービスセンター利用料減免措置	可決
◇教育委員会の委員の任命 冷水毅氏の任命	同意
◇人権擁護委員の候補者の推薦 藤本真典氏、田和貞保氏、村田伊代子氏、山藤忠理氏の推薦に議会の意見を問う。	同意

## 審査の中間報告を行う 中核市検討特別委員会

中核市移行に伴う課題を調査検討するため、昨年六月定例会で設置し、閉会中に継続審査を行ってきた中核市検討特別委員会の審査の中間報告を、九月二十九日の本会議で行いました。

その概要は、中核市への移行は、地域特性を生かした市独自のまちづくりが可能となる。地方分権の確立と市民本位の視点に立つた参加型まちづくりを推進するためにも、効率的な行政サービスが期待される。機構改革や定員管理の適正化はもとより、職員の意識改革、人材の育成・登用などを積極的に行い、組織の活性化を図るなど、より一層の行政改革を推進することに

より、市民が本当に中核市に移行してよかつたといえる体制づくりが必要である、となっています。

なおこの報告に対し、日本共産党奈良市会議員団の議員から、我が党は、中核市移行による国、県からの事務事業の移行は、それに伴う財源移譲を国、県に要求し、決して職員を減らしたり市民サービスを低下させるなど、行政改革を行うべきではないと主張してきたが、中間報告に明記されていないのはなぜか、との質問がありました。これに対し、委員長は、報告のとおりであると答弁をしました。

委員会は、今後も引き続き審査を行っていきます。